

経営比較分析表（令和2年度決算）

北海道八雲町 八雲総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	-	ド透I未	救 臨 感へ災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
15,673	23,850	-	第1種該当	10：1

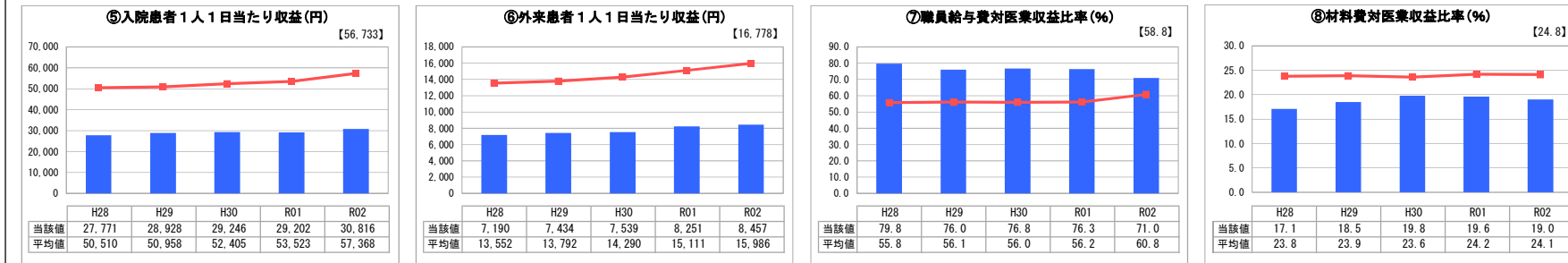
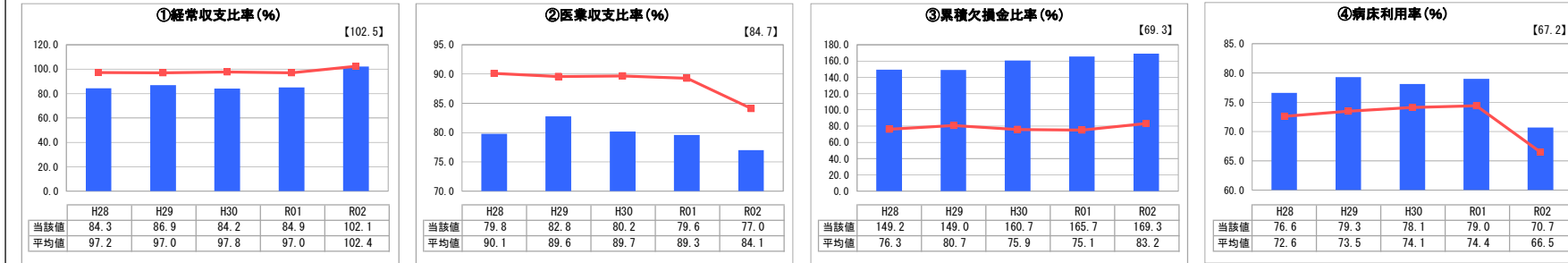
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

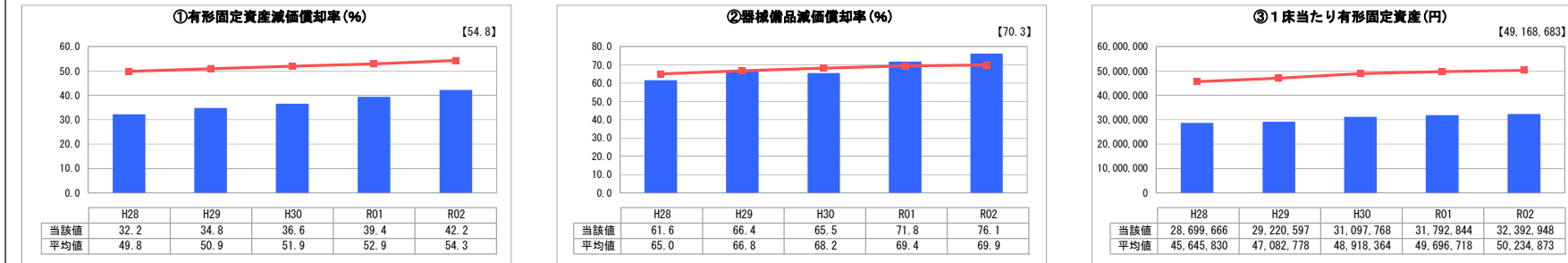
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
183	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	4	327
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
183	40	223

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、北部渡島檜山圏域の地域センター病院、災害拠点病院等、圏域住民が良質な医療を安定して受け続けられる公的病院である。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 繰入基準の見直し及び新型コロナウイルス感染症病床確保補助金等により黒字となった。
- 新型コロナウイルス入院患者用の病床確保による患者減及び外来の受診控えにより医業収益が減少した。
- 平成26年度、30年度の医師退職による退職により累積欠損金が大きく増加し、類似団体平均も大きく上回っている。
- 新型コロナウイルス患者用の病床を確保したため病床利用率が低下した。
- 診療単価の低い療養及び精神の患者が多いことから類似団体平均を下回っている。
- 慢性疾患患者が多く、検査件数が少ないことから類似団体平均を下回っている。
- 常勤医師を確保できず、非常勤医師で対応していることにより資金が高額となり比率を引き上げ、類似団体平均を上回っている。
- 概ね20%で推移し、類似団体平均を下回っている。

2. 老朽化の状況について

- 平成27年度に本館棟の建替えが完了したことにより償却率は減少した。
- 平成27年度の本館棟の建替えの際に機器を更新したことにより償却率は減少した。
- 類似団体平均を下回り、適正な投資であるといえる

全体総括

赤字が続く非常に厳しい経営状況の中、繰入基準を見直し経営収支の安定を図ったが、新型コロナウイルスの流行による患者減により収益は落ち込んだが、新型コロナウイルス感染症病床確保補助金等により経営黒字となった。
依然として類似団体との開きの大きい入院及び外来1人1日当たり収益を平均に近づけられるよう、平成28年度に策定した「八雲総合病院新改革プラン」に基づき、健全な経営となるよう一層の努力が必要である。